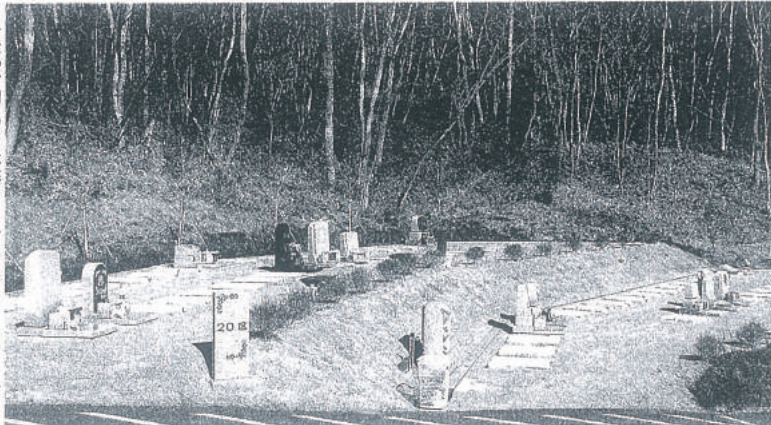


永眠 ペットと一緒に

犬や猫と入れる墓 東北にも



東北で初めて整備された人間とペットと一緒に眠れる墓地

仙台市青葉区郷六のみやぎ霊園

埋葬の形態が多様化する中、人間とペットと一緒に入れる墓が、東北にも登場した。ペット霊園から改葬するケースが相次ぐなど、反響は大きい。犬や猫を家族の一員と考える人が増えたことや、宗教観の変化などが背景にあるようだ。

公益財団法人アタラクシア

ためだ。

が運営する、みやぎ霊園(仙台市青葉区郷六)は昨年5月、「ペットといっしょ墓地」の受け付けを始めた。芝生の敷地に全65区画を整備。1区画0・8坪(2・64平方メートル)で、一つの墓に人とペットと二緒に埋葬できる。

ハナミズキやドウダンツツジ、ニッコウキスゲなど季節の花が、ゆったりとした空間を演出する。芝生にしたのは今飼っているペットと一緒に

お参りしやすいよう配慮した。永代使用料は80万円、管理料は3年間で2万円弱。1年間、半数以上の35区画で契約が成立した。既に墓石を建てた人もいる。

「後々一緒に眠りたい」と

背景に宗教観の変化

ペット霊園から改葬した家族が多いほか、犬3匹を先に埋葬した40代の独身女性や、墓石を建てペットの名を刻んだが、寂しいので遺骨はもう少し手元に置きたいという49歳の男性もいる。思いはさまざま。同園管理事務所広報担当の遠藤洋晶さん(43)は「予想以上に反響があった。見学、問い合わせも多く、潜在的な需要はかなり大きいのではないか」と語る。

以前は動物と人間を同じ墓に入れることはタブー視されてきた。ほとんどの寺や霊園は今も認めていない。ただ、こうした宗教観は変化しつつあるようだ。

樹木葬で人間とペットを一緒に埋葬しているケースもある。遠野市のNPO法人、遠野山・里・暮らしネットワークは、同市の寺・西栗院の委託を受け、同市小友町の里山

で行う「千年樹木葬」で、人間が眠る樹木にペットを埋葬する取り組みを続けている。

同ネットワークに、ペットと死後も一緒にいたいとの声が多く寄せられたため、西栗院に働き掛け、一昨秋に実現した。人間の樹木(永代使用料、永代管理料などが必要)がある区画に、ペット1匹当たり12万円が埋葬できる。東北はもとより北海道や関西からも問い合わせがあるという。

同ネットワーク代表の菊池新一さん(67)は「ペットと一緒に埋葬してもらいたいのにできないと悩んでいる人は多い。樹木葬を活用できることを、もっと知ってほしい」と話している。

連絡先は、みやぎ霊園02-2226-2440、遠野山・里・暮らしネットワーク0120(945)175。